

枚方市議会議員 駅前配布版 第68号(通算81号)平成23年5月発行

かじや知宏 議員報告

〈生年月日〉昭和43年9月12日 〈年齢〉42歳 〈出身地〉大阪府枚方市 〈趣味〉読書、スポーツ観戦、神社仏閣巡り 〈血液型〉O型
〈経歴〉阪保育所→殿山第二小→枚方三中→枚野高→龍谷大→報知新聞社(11年)→枚方市広報課(3年3ヶ月)→行政書士

〈市役所〉〒573-8666 枚方市大垣内町2-1-20 電話072-841-1221代
〈自宅〉〒573-0171 枚方市北山1-23-57 電話090-3705-9393
Eメール tomohiro@t-kajiya.com

かじや知宏のホームページ
<http://www.t-kajiya.com>



枚方市議会議員選挙 2809 票の支持を頂き当選することができました

4月24日に投開票が行われた枚方市議会議員選挙において、前回(平成19年)よりも999票多い2809票のご支持を頂き、32位(定数34人)で当選させて頂くことができました。46人も候補者が立候補するという激戦の選挙でしたが、改革を進めてほしいという大きな風の後押しされる形で初めて議席を得ることができました。公職選挙法の規定により、お礼を申し上げることができませんが、皆さまのご期待にお応えできるよう、枚方市政の改革に向け精一杯頑張っていきます。

報告活動 今後も駅前報告を継続し、議員報告も定期的に発行していきます

これまで5年間継続してきた駅前報告につきましては、今後も引き続き行っていきます。また、これまで皆さまにご愛読頂いていた市政情報紙「枚方あちこちウォッチング」は廃刊とし、今後「かじや知宏 議員報告」を発行していきます。ただし、通番につきましては引き継ぎをし、今号を「駅前配布版第68号(通算81号)」とさせていただきます。今後もよろしくお願いいたします。

会派について 市議会で会派「みんなの党市民会議」を結成しました

枚方市議会では、主義主張を同じくする3人以上の議員で構成する会派を単位として議会運営を行っており、会派を組まず一人で議員活動を行う場合、大きな制約(予算・決算などの委員会での質問することができないなど)を受けることになります。

私は今回の選挙で、みんなの党から推薦を頂きました。これには、みんなの党との連携・協力関係を明確にし、当選後の議会活動においても同党との会派結成を有権者の皆さまにはっきりとお示しして選挙に臨むという意味がありました。

そこで今回、選挙前に皆さまにお示しさせて頂いた通り、5年前から連携して活動し、ご指導を仰いできた先輩議員である池上典子議員(みんなの党公認、5期)、高橋伸介議員(みんなの党公認、4期)、そして私、かじや知宏(無所属・みんなの党推薦、1期)の3名で「みんなの党市民会議」という会派を結成いたしました。

また、私たちと同じ改革路線を掲げる岡沢龍一議員(無所属、2期)、清水薫議員(無所属、1期)岩本優祐議員(無所属・みんなの党推薦、1期)、木村亮太議員(無所属、1期)、の4名が「未来に責任・みんなの会」という会派を結成されました。今後、枚方市の改革を前進させるため「みんなの党市民会議」「未来に責任・みんなの会」の2つの会派(総勢7名)で、「みんなグループ」として連携して議会活動に当たっていきます。

枚方市議会臨時会 議長を選出をはじめ各常任委員会への所属が決定

枚方市議会の平成 23 年第 1 回臨時会が、5 月 18 日から 23 日まで開かれました。議長に民主クラブの松浦幸夫議員、副議長に公明党の大森由紀子議員が選出されました。また、議会選出の監査委員には、岡沢龍一議員と大塚光央議員を選任することに同意がありました。その他、議会運営委員会及び各常任委員会の所属議員が決まりました。私の所属は以下の通りです。

厚生常任委員会（介護保険、国民健康保険、後期高齢者医療、国民年金、高齢者福祉、障害者福祉、生活保護、子ども施策、環境施策、ごみ処理などに関する事項を担当）、議会報編集委員会、都市計画審議会、病院事業運営審議委員会、片町線複線化促進期成同盟会

～東日本大震災に伴う寄附金支出のプロセスについて質疑を行いました～

今回の臨時議会では、東日本大震災に伴う岩手・宮城・福島への 3 県への寄附金（直接被災者に届く義援金と違い、一度自治体の歳入となるもの）3900 万円の支出に関して竹内市長が次の議会開催（5 月）を待たず、4 月 15 日に専決処分を決めたことに対して質疑を行いました。私にとって本会議で初めての質疑です。専決処分とは、本来議会で議決すべき件について、特に緊急なケースで議事を招集する時間的余裕がないときなどに、市長が議会の審議・議決を経ずに処分できることです。

この国難と言われている状況において、被災県に対して税金から寄附金を送ることについては、誰も反対をするような状況ではないと思います。もちろん、私も寄附が行われた結果について、反対するものではありません。私に取り上げたかったのは、寄附金支出におけるプロセスの問題です。寄附金の支出について、1 か月後に開かれる議会が待てないほどの緊急性が本当にあったのかという点について確認をしました。

市の答弁によると、東北 3 県から特に緊急の寄附金の要請はなかったとのこと。3 月の震災発生直後ならともかく、すでに多くの公共団体や民間団体が義援金・寄附金などの支援を行っている状況でもあり、また今後継続した息の長い復興支援が必要であると言われていたときに、議会議決のプロセスを飛ばすだけの緊急性があったとはとても思えません。

二元代表制という地方自治体の原則を考えるならば、金額の 3900 万円が妥当なのかどうかも含めて、この 5 月議会で十分審議を尽くし、議決する必要があると考えます。市長による安易な専決処分の乱発は、市民の代表である議会の軽視につながることから、今後、専決処分を行う際には、本当に緊急性があるのかを十分見極めたうえで行って頂くよう、市に強く要望しました。

駅前報告もついに 5 年目に突入！ 380 回を超えました

多くの市民の方と市政情報を共有したいとの思いから、午前 6 時 20 分頃～8 時 30 分頃に市内の駅前で「かじや知宏 議員報告」の配布とそのご報告を行っています。平成 18 年 7 月に開始した駅前報告も、ついに 5 年目に突入し、トータルで 380 回を超えました。これからも継続していきますので、もし駅前で見かけられた時はお気軽にお声掛けください。

活動の詳細については「かじや知宏のホームページ」をご覧ください
ブログも随時更新中！

詳しくは **かじや知宏** で **検索**

携帯電話からも私の
活動記録をご覧にな
ることができます→

